

## 第5回栽培・飼育教材開発コンクールの審査結果と講評

審査委員長 平尾健二

幼児教育・保育施設、小学校、中学校、高等学校ならびに特別支援学校の教員を対象に、昨年度、第5回栽培・飼育教材開発コンクールを開催いたしました。以下、審査結果と講評についてご報告いたします。

本コンクールの内容として、以下の2部門を設定し募集を行いました。

(応募期間 2023年11月1日～2024年2月5日)

① 人格形成・知識理解部門

・・・子どもの人格形成・発達や、基礎的知識の習得に関する教育  
(主に幼児教育・保育施設、小学校、中学校、特別支援学校)

② 農業技術・農業人材育成部門

・・・農業に関わる専門的技術・人材の育成に関する教育  
(主に中学校、高等学校)

今回は、2部門合計で7件の応募をいただきました。まずは、応募いただきました各先生方をはじめ、ご協力いただきました学校関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

① 人格形成・知識理解部門                      応募数：3件

② 農業技術・農業人材育成部門                  応募数：4件

審査は、委員長：平尾健二（学会副会長・福岡教育大学）、審査委員：勝川健三（弘前大学教育学部）、門脇正行（島根大学生物資源科学部）、小泉匡弘（北海道教育大学旭川校）、鎌田英一郎（長崎大学教育学部）の5名で実施しました。各審査員による事前評価、オンラインによる審査会を行い、最優秀賞2件を選出しました（下表）。また、惜しくも受賞には至りませんでした。高いレベルでの教材開発の成果をご紹介いただきました方々には奨励賞をお贈りすることとしました。ご応募いただきました皆様の教材研究へのご努力に対し、心より敬意を表します。

各賞の受賞者には表彰状と記念品を贈呈いたしました。また、審査結果として、各審査委員からの評価・アドバイスをまとめたものを講評として、希望された方々にお送りいたしました。今後の教材開発研究の参考にしていただければ幸いです。

## 第5回栽培・飼育教材開発コンクール受賞教材（作品）

### ①人格形成・知識理解部門

最優秀賞 寶地 拓也（鹿児島大学教育学部附属小学校）  
アサガオさんで みんなニコニコ大作戦

### ②農業技術・農業人材育成部門

最優秀賞 滝 彰（香川県立農業経営高等学校）  
実践的な養豚技術を基礎から学べる豚舎の運用

①人格形成・知識理解部門における最優秀賞は、鹿児島大学教育学部附属小学校の寶地拓也先生による「アサガオさんで みんなニコニコ大作戦」でした。本教材はアサガオを複数回栽培することで子どもたちの気づきの質を高めていくというものであり、学校の人々からよく見える花壇で栽培することで、やりがいを感じたり、粘り強く取り組んだりと人格形成に寄与している点、また、同じ作物を繰り返すことの有用性や可能性を示したプログラムである点が高く評価されました。

②農業技術・農業人材育成部門における最優秀賞は、香川県立農業経営高等学校の滝 彰先生による「実践的な養豚技術を基礎から学べる豚舎の運用」でした。本教材は、日常の観察をもとに、対象生物の状態に応じて必要な技術を駆使するという経験が、生徒の真の技術修得に寄与している点が高く評価されました。また、細密に計算された授業計画によって、全学年で効率よく、そして継続性を担保した養豚学習が行えるように考えられている点、さらには食肉の販売を通して実社会への貢献にも寄与している点が、農業に誇りを持つマインドの涵養にも繋がるものと期待され、本部門の教材として非常に相応しいものと評価されました。

全体を通し、審査委員会が目にしたのは、今回応募いただいた開発教材の多くが、「その学校だからやれる」のではなく、教材の捉え方や取り組みの内容が実効性・汎用性に富み、栽培・飼育の対象生物を変えることで応用可能なものであったことです。ぜひ、本学会の講演会において、農業教育における実践研究として、さっそくご発表いただきたいところです。

今回のコンクールでは、さらにバラエティに富んだ教材をご応募いただけることを願っております。会員のみなさまをはじめ、農業教育に携わる方々からの多くのご応募をお願い申し上げます。